八　剣　山　通　信

第３４号

八 剣 山 発 見 隊
2005年 ２ 月 ７ 日 発行

２月６日（日）「2005　しばれ陶芸体験」を実施しました。

【行事の概要】

今年も、最初の行事として「しばれ陶芸」を実施することとなりました。昨年も１４回の八剣山発見隊の行事について、八剣山通信を発行してきました。

今年も、八剣山発見隊が実施及び参加する行事について、迅速に八剣山通信を発行していきたいと思いますので、よろしくご協力のほど、お願いいたします。

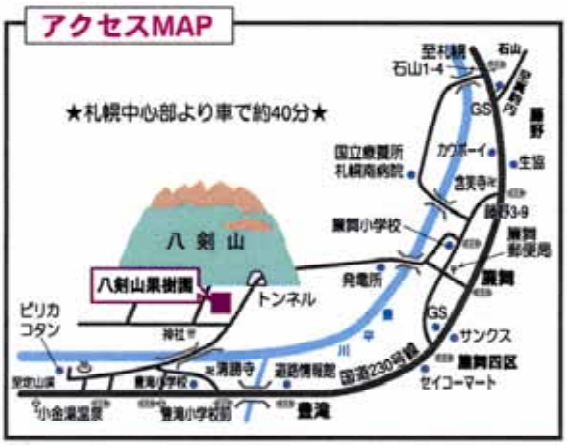
今回実施する「しばれ陶芸」は、冬の寒さを利用して粘土の表面の化粧泥を凍らせて、自然の織りなす文様をつけます。この文様は、冬の寒い時期でしかできない、自然を利用した陶芸の楽しみ方で、多くの隊員がこの行事に参加することを楽しみにしています。

今回の行事も、昨年に引き続いて「宙(そら)工房」の川口英高さんのご指導により実施します。

昨年の模範指導では、１個の茶碗が十数秒で形ができあがり、その早さに参加者がびっくりしていました。模範指導で作り方を学んだ後、参加者がそれぞれ粘土の固まりに向かって、お皿や茶碗、湯飲みなどの制作に挑戦しました。中には苦労している人も見受けられましたが、出来上がった作品を、ストーブで乾燥させてから２種類の化粧泥を掛けて、すぐに小屋の外の雪で作ったテーブルに並べました。十数分後には見事なしばれ模様が現れました。

・主　催　：　八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】



ドイツの文化を体験しませんか（主催：八剣山果樹園）
・２月１１日 バレンタインのチョコ作り
・２月１３日 フェルト作り体験(羊の毛での雪ダルマ作り)
・３月２６日 イースターの卵の飾り作り 連絡先:596-5509(ﾋﾞｱﾝｶ)

【行事の感想】

雪で埋まった八剣山果樹園に30名ほどの参加者が集まり、はじめに「宙工房」の川口英高さんから「しばれ陶芸」の説明と模範指導があり、その後、参加者がおのおの粘土の固まりに挑戦しました。

粘土をひも状にして積み重ねたり、丸い固まりを平たく棒で延ばしたりしながら、いろいろな形のお皿やコップ、ドンブリなどの形が出来上がりました。中には、八剣山をあしらった花瓶を作っている参加者もいました。

形の整えた作品をストーブの周りに置いて乾燥させて、仕上げの削りと裏にイニシャルなどの銘入れを行ってから、白と黒の化粧泥掛けを行いました。

本来であれば、化粧泥掛けのあとで屋外に出して、寒さによる「しばれ紋様」を付けるのですが、天気が悪い割には気温がプラスと高かったことから、「しばれ紋様」については、残念ながら付けることはできませんでした。

完成した作品は、後日、宙工房の窯で焼き上げてもらい、作品の引き渡しは、３月１３日の予定です。一月ちょっとですが、作品のできばえを楽しみにお待ちください。

（連絡先：「宙工房」南区小金湯575-17　TEL 596-5439）

【 化粧泥掛けされた作品群 】

【今後の行事予定】

・３月１３日　雪中山歩きと雪遊び

発行：八剣山発見隊事務局（事務局長 山澤　敬）
061-2274 札幌市南区小金湯510番地
TEL 011-596-2920　FAX 011-596-2920
http://sapporo.cool.ne.jp/hakkentai/

2005　しばれ陶芸体験

【「宙工房」川口英高さんの模範指導】

【参加者の制作風景①】

【参加者の制作風景②】

【乾燥中の作品】

【化粧泥掛け作業】

【化粧泥掛けされた作品】